

宮城県黒川郡大和町鶴巣方言の否定の表現

大橋 純一

I、はじめに

- 1、調査対象地：宮城県黒川郡大和町は、仙台市より北へ約25キロ。地理的には県の中央に位置する。大和町は、旧五町村が合併した際に命名された地名であり、鶴巣は、その旧町村の一つである。村は、稲作を中心とする農村地帯で、1995年1月現在、戸数575戸、人口は2933人となっている。村には、東北自動車道・国道4号線が南北に走り、仙台への交通の便は悪くはないが、JRの路線が通っておらず、仙台市街へ出かけることはめったにない。ただ、最近では、仙台市内の高校へ進学する者も徐々に増えつつある。
- 2、調査年月日：1995年2月22日 午前10時～午後12時30分
- 3、話者：熊谷三郎 大正11年5月21日生（73歳）
- 4、調査者・調査場所：大橋純一、話者宅
- 5、調査方法：統一調査票による質問調査
- 6、その他：①アクセントは、棒引きで記す。
②当該部分以外のバリエーションは、中黒（・）をもって列記する。

II、調査結果

- 1、行かない ○アメ フルヨーダカー・フルヨーダガラ キョーワ ドゴサモ イガネー。
- 2、降らない ○キョーワ アメ フンネーバー。
- 3、行きません ○キョーワ ドゴサモ {①イガネー。／②デガゲネー。}
- 4、行きはしない ○キョーワ ドゴサモ ナンボシテモ イガネー。
- 5、いらっしゃらない ○センセーワ キョー ドゴサモ {①オイデニ ナンネー。／②イガネーツツテタ ヨ。}
- 6、行かなかった ○キョーワ ドゴサモ {①デハンネガッター。／②イガネガッター。}
- * (①は「でかけなかった」の意。)
- 7、行きはしなかった ○キョーワ ドゴサモ {①イガネガッタ チャー。／②イガネガッタ サー。}
- * (「チャー」「サー」によって強調の意を示す。)
- 8、行くまい ○アメガ フリソーダガラ キョーワ ドゴサモ イガネー。
- 9、出まい ○アメガ フリソーダガラ キョーワ ドゴサモ デハンネー。(でけない。)
- 10、すまい ○キョーワ ナンニモ {①スチイ。／②スネー。}

- 11、降らないだろう ○キョーワ タブン アメワ {①フンネンデ ネーベ ガヤー。
／②フンネンデ ネース カヤー。}
- 12、降るにちがいない ①アシタワ カナラズ アメ フルニ マチゲー ネー。／②
アシタワ キット アメ フンデ ネーベ ガヤー。
- 13、来ない ○キョーワ ダレモ コネー。
- 14、来はしない ○キョーワ ダレモ コネ サー。
- 15、来なかった ○キョーワ ダレモ {①コネガッタ オナー。／②コネガッタ オ
ヤー。}
- * (「オナー」「オヤー」によって語調を整える。)
- 16、見ない ○キョーワ ダレモ {①ミネガッタ オナー。／②ミネガッタ オヤー
。}
- 17、居ない ○キョーワ ダレモ イネー。
- 18、行かずに ○ドゴサモ イガネーデ イヌ(家に) イダ オヤー。
- 19、行かなくても ○ワザワザ {①イガネータッテ イー ヤー。／②イグマデデ
ネーツ チャー。}
- 20、行かなければ ○ワザワザ イグマデデ ナガッタ ヤー。
- 21、行かねば ○ナンボ シテモ・ナンボ シタッテ イガネグ ネ オヤー。
- 22、行かねばならない 「21」に同じ。○ナンボ シテモ・ナンボ シタッテ イガネ
グ ネ オヤー。
- 23、～ズ ○イヌ(家に) イダノデ ドゴサモ イガネガッタ オヤー。
- 24、行きもせず来もしない ○オラホガラモ イガネース ムゴーガラモ コネー。
- 25、行くか行かないかわからない ○ソノ ヒトノ イサー(家へ) アシタモ イグ
カ・イッカ イガネーガー ワガンネー。
- 26、無い ○コイズシカ ネー。
- 27、無い ○コドシミテニ アズイ トシ ネー チー。
- 28、ありはしない ○コドシミテニ アズイ トシ マズ ネー チー。
- 29、無かった ○コドシミテニ アズイ トシ ネガッタ ナヤー。
- 30、ありはしなかった ○コドシミテニ アズイ トシ マズ ネガッタ ナヤー。
- 31、無いだろう ○コドシミテニ アズイ トシ マズ {①ネンデ ネー ガー。
／②ネンベ ナー。}
- 32、無ければ ○アズイ ナズナンカ ネー ホーガ イーノ サナヤー。
- 33、暑くない ○キョーワ ヨゲー・アンマリ アズグ ネー チー。
- 34、暑くはない ○キョーワ ヨゲー・アンマリ {①アズイド イワネーベ ヤー。
／②アズイド イワネーベツ チャヤー。}
- 35、暑くなかった ○キョーワ オモッタヨリ アズグ ネガッタ ナー。

- 36、暑くはなかった ○キョーワ オモッタヨリ ドゴニ (特に) アズグ ネガッタ
チヤー。
- 37、暑くないだろう ○アシタモ アズグ ネーベ ナー。
- 38、涼しくない ○キョーワ オモッタヨリ スズシグ ネガッタ ナー。
- 39、にぎやかでない ○アンマリ ニギヤガデ ネー ナー。
- 40、にぎやかではない ○アンデワ・アンデヤ ニギヤガデ ネー ナー。
* (「アンデワ (ヤ)」は「あんまり」の強め。)
- 41、にぎやかでなかった ○アンマリ ニギヤガデワ ナガッタ ナー。
- 42、にぎやかではなかった ○アンデワ ニギヤガデワ ナガッタ ナー。
- 43、にぎやかではなからう ○モー アノヨーニ ニギヤガナ ゴトワ ネガッタ ナ
ー。
- 44、花ではない ○アイズ ハナデ ネー ヤ。
- 45、だめだ ○ソンチ ゴトナラ ナンベン ヤッタツテ ダメダベ ヤー。
- 46、だめな ○アイズワ ダメナ ヤッタ オチー。
- 47、つまらない ○ {①ツマンネー ゴト / ②ムチャナ ゴト} ユーナ。
- 48、いけない ①イッテワ ダメダベー。 / ②イカネー ホー イー。
- 49、行かれん 「48」に同じ。 (①イッテワ ダメダベー。 / ②イカネー ホー イ
二。)
- 50、行くな ○ソンチ 下コサ イグナ。
- 51、するな ○イタズラ スンチ。
- 52、行くもんじゃない ○ソンチ 下コサ {①イグ モンデ ネー。 / ②イグナ。}
- 53、たまらない ○アズグテ タマンネー。
- 54、しかたがない ○アメ ヤムノ マツテダツテ {①スカタ ネーベー。 / ②シャ
ーネーベー。}
- 55、楽ではない ○トーグマデ・アスゴマデ アルグンデワ ラグデワ ネット サー。
- 56、歩きたくない ○トーグマデ・アスゴマデ アルグデグ ネー。
- 57、大丈夫だ ○スンベー スネータツテ デージョーブダー。
- 58、いや ○イヤ フンネガッタ ナー。
- 59、いや ○イヤイヤ チカウ ヨ。
- 60、いいえ ○イイエ。
- 61、いや ①ウン フッタ ヨー。 / ②ウンウン フンネガッタ ヨー。
- 62、どういたしまして ○イヤイヤ オソマツテ ヤシター。
- 63、できない ○ソンチ ゴト オラワ デネー ナー。
* (「できない」を簡単にして「デネー」と言う。)
- 64、読むことができない ○クラインデ シンブンサ ヨメネー。

- 65、読むことができない ○シツブンサ ヨメネー。
- 66、出られない ○コエナ (こな) ハデナノ キテ マズサ (町へ) イガンネー
バ ヤー。
- 67、食べられない ○コア キアゴ {①カンネツ チャー。/②カンメツ チャー。}
* <「カンネ」は「食われない」の縮約音転形。「カンメ」は「食われまい」の縮約
音転形>
- 68、食べることができない ○イソガシクテ ヒルメスモ クー ヒマモ ネー。
- 69、知るものか ○ソナナゴド オラ ワガンネー。
- 70、誰が行くものか ○ソナナ ドゴサ ダレモ イガネーバ ヤー。
- 71、なんで行くか ○ソナナ ドゴサ ナンノ ヨー アッテ イグノー。
- 72、なんで恥ずかしいものか ○ナンデ オシヨスイズ ゴド アンメー ヤ。
* (「オシヨス」は「恥ずかしい」「気まずい」の意。)
- 73、行かないでおるものか ○イガネー ワゲニ イガネー。
- 74、やれるか ○ソイズ オメーニ {①ヤレンノ ガヤ。/②デギンノ ガヤ。}
- 75、シテイラン ○ソナニ ヤندانデ {①スネクタッテ イー。/②スツ コト
ネー。}
- * (「ヤندانデ」は「いやならば」の意。)
- 76、少しもはかどらない ○アズグデ スゴトガ ナンボモ {①ススマネー。/②ハ
ガドンネー。
- 77、ぜんぜんできていない ○スゴトガ サッパリ {①ススンデ ネンデ ネー ガ
ー。/②デテ ネンデ ネー ガー。}
- * (「デテ」は、「できて」の意。)
- 78、いっこうに降らない ○アメガ サッパリ {①フル キガ ネー。/②フリソー
モ ネー。}
- 79、あまり降らない ○コドシモ アメガ アンマリ フンネーチャー。
- 80、(予想外に)たくさんとれた ○イモガ オモッタヨリ {①デダッタ ヤー。/
②イガッタ ー。}
- 81、いいではないか ○ワザワザ イガネーダッテ インデ ネーノ ガヤ。
- 82、いいのではないか 「81」に同じ。○ワザワザ イガネーダッテ インデ ネーノ
ガヤ。
- 83、いいかもしれない ○ワザワザ イガネーダッテ イガンバー。
- 84、行かないか ○イッシヨニ {①イガネ ガー。/②アーベヤ。}
* <「アーベヤ」は動詞・「歩め」の命令形が勧誘表現化したもの。>
- 85、くれないか ○コイズ {①モッテ スケロー。/②タガッテ スケロー。}
* (「タガク」は「もちあげる」の意。)

86、くれませんか ○コイズ タガエテ スケン カエ。

87、下さいませんか ○コイズ タガエテ スケサイン。

*（「サイン」を用いることによって丁寧な言い回しになる。）

88、行かないと ①ハヤグ イケ。 / ②ハヤグ イガネート ダヌダ ヨ。

Ⅲ、総括（まとめ）

- 1、否定表現を形成する助動詞「ナイ」・形容詞「ナイ」は、いずれも、一般に、「～ネー」の形で表現される。（ex、助動詞：<「行かナイ」→「行かネー」><「来ナイ」→「来ネー」>、形容詞：<「暑くナイ」→「暑くネー」><「花ではナイ」→「花でネー」>）
- 2、「暑くはなかった」等、過去の否定表現「～ナカッタ」は、「～ネガッタ」「～ナガッタ」の両形が、その時の話し調子で、ほとんど区別なく用いられている。
- 3、「いや」「いいえ」等、否定の応答詞は、特別な言い回しが存在せず、共通語形のまま、このように用いられている。
- 4、否定意志の表現は、<8、「行くまい」→「イガネー」> <9、「出まい」→「デネー」>の如く、単に動詞の否定形で言い表わされる。
- 5、反語形の表現は、一般に行なわれず、<69、「知るものか」→「ワガンネー」> <72、「恥ずかしいものか」→「オシヨスイズ ゴト アンメー ヤ」>の如く、単なる否定断定形表現によって行なわれる。
- 6、否定の強調表現「～ではない」における「は」の機能は、強調の副詞、あるいは、強調の文末詞によって担われている。（ex、<4、「行きはしない」→「ナンボシテモイガネー」> <7、「行きはしなかった」→「イガネガッタ チャー」>）
- 7、否定表現の文には、ほとんどの場合、「～サー」「～カー」「～ヤー」「～オヤー」「～オナー」「～チャー」等の文末詞が添接する。それらは、語調を整えたり、強調の意を添えたりする役割を担っていると考えられる。
- 8、全体を通して、当該方言における否定表現は、上記4・5項に見る如く、一般に、微妙な言い回しが榮えず、割り切った直接的・断定的否定形の表現となる。

（おおはしじゅんいち 東北大学大学院）